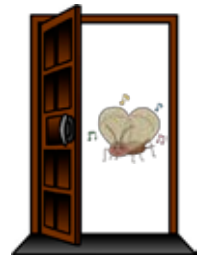




ようこそ！
市長室へ

57



子育て健康プラザ 「まーノ」オープン

5月6日、いよいよ可児市子育て健康プラザ「まーノ」が、オープンします。2013年11月の広報かにで、市民の皆さんにお伝えして以来、5年近くを経ての実現です。長期にわたる工事には、近隣地域をはじめ多くの市民の皆様にご不便、ご迷惑をお掛けしました。大変なご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。



可児駅前に完成間近の可児市子育て健康プラザ「まーノ」

め、子育てを総合的に支援する場を目指します。加えて、広い遊戯室をもった中央児童センター「にこっと」、3歳までの乳幼児と

保護者がゆつくりくつろぎ、交流する「絆るーむ」なども併設します。また、健康をつくり守るのは「食」と「運動」です。クッキングスタジオと健康スタジオでは、業務の一部を民間事業者にお願いし、様々な講座が企画運営されます。市民の健康づくりの拠点でもあります。

にぎわいは、人が集うところに生まれます。市民支援室では、子育てや健康に関わるボランティアなどの活動拠点の場として、また子育ての心配事や悩みを気軽に

に相談できる場として、多くの方に活用していただきたいと思えます。施設は夜9時までの開館ですので、高校生や大学生、そして社会人の方もぜひ利用してください。駅に面して設置するカフェレストランでは、和食を基本として、手作りにこだわり、地域の食材を活用したメニューも予定されています。こちらもとても楽しみです。

愛称に決定した「まーノ」は、イタリア語で「手」の意味です。施設のシンボルマークのように、市民の皆さんと行政が「手」をつなぎ、市民の皆さん同士が「手」と「手」を取り合って交流できる、そんな施設にみなでいていきましょう。アラに「まーノ」が加わって、若い世代も高齢者も、障がいのある人も、外国籍の人も、さまざまな市民が元気に楽しく共生する（アラの目指す社会包摂）、次世代が誇りに思える、可児市のシンボルになつてくれることを目指しています。



まーノを中心に広がる人々の触れあいを3体のキャラクターで表現しています。中央には可児・子育て・健康・交流の頭文字「K」が浮かびあがります。



中央児童センター「にこっと」(左)と「絆るーむ」(右)

可児市長 野村 伸